2022年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

（ハッピーテラス大分教室）

はい・・○　どちらともいえない・・△　いいえ・・×

		チェック項目	○	△	×	改善目標・工夫している点など
環境整備・体制整備	1	利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	4			法令基準以上にスペースを確保し、利用者が安全に過ごせるよう配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			配置基準（10に対し2人の職員）の人員より多くのスタッフを配置している。
	3	事業所の設備などについて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4			事業所内は全て段差がない構造となっている。
業務内容	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			ミーティング等で見直しを行っている
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケートを実施して保護者の意向を把握し業務改善につなげているか	4			無記名アンケートを保護者に配布しいただいた結果の意向を把握し、改善に努める
	6	この自己評価の結果を踏まえて、支援の質の評価及び、改善の内容をホームページ等で公開しているか	4			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1		外部評価は行っていないが、定期的に運営本部の巡回訪問を実施し、業務改善に努めている。
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			内部・外部研修に参加し、外部研修の際は職員間で情報共有をしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを実施し、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、個別支援計画を作成しているか	4			保護者にアセスメントを行い、目標設定や課題に反映させている。
	10	子どもの適応行動等の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		独自に開発しているアセスメントツールを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		日ごとに職員が療育内容を考案し、それを基に職員で協議を行い実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			週間テーマに沿った内容で利用者が楽しく過ごせるよう工夫している。
	13	放課後、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			平日は、社会性スキルを中心に取組み、学校休業日には生活スキルやイベントを設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	4			個別ごとにスタッフ間で情報を共有し、個別支援計画を作成している。
	15	支援開始前にはスタッフ間で必ず打ち合わせし、その日に行われる支援内容や役割分担を確認しているか	4			利用者の通所前に療育内容を当日スタッフで確認し、役割や場面の想定をしている。
	16	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日の振返りを行い、気づいた点などを共有しているか	2	1	1	支援終了後には利用者の支援日誌を記録し、療育方法の改善や検討を確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			個別支援計画に沿った内容に基づき、正しく支援日誌を記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			利用者の課題に合わせて、支援計画の見直しや改善の必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	3	1		ガイドラインンの基本活動を組み合わせた週間テーマで日々の支援を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したふさわしい者が参加しているか	4			児童発達支援管理責任者が参加し、必要性に応じて指導員もサービス担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画、行事予定、下校時刻）など、連絡調整を適切に行っているか	4			関係者や関係機関と情報共有を定期的に行い連携し確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2		該当する利用者がいないため、必要となれば情報共有に努めていく。
	23	利用していた保育所や幼稚園、子ども園等・児童発達支援等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			保育所や子ども園、幼稚園等に定期的にご訪問し、会報等で情報共有を行い、相互理解に努めている。

はい・・○ どちらともいえない・・△ いいえ・・×

適切な支援の提供	24	学校を卒業し、放デイから福祉サービス事業所へ移行する場合、支援内容の情報を提供するなどしているか	2	1	1	相談員と情報共有し、移行した事業所等に情報提供をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1	定期的に専門機関の研修に参加し、支援に活用している。
	26	放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	保護者のニーズに合わせ、必要あれば今後は機会を検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	1	行政等が主催する研修などに参加し、事業所の情報を共有している。
	28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			保護者とのフィードバックを大切に行い、発達状況や今後の課題について共通理解を持っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	1	2	1	ペアレントトレーニングは未実施しているが、保護者からの相談に対応している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	4			利用開始前に重要事項説明書や契約書の説明を行い、支援内容・利用者負担を説明している。
	31	保護者から子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			通所毎に保護者から子育てに対する相談や悩みに対応し、専門職等の助言で支援している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2		2	保護者会の必要性を感じているので、今後は定期的に開催していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、苦情の際に迅速かつ適切に対応しているか	4			相談や申入れについては迅速に対応し、体制整備を行っている。
	34	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	4			毎月、事業所の活動内容や支援内容、行事予定を記載した会報を保護者に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			マニュアルに沿って情報漏洩や守秘義務を厳守し、厳重に保管管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			必要に応じて目視でも分かるよう情報伝達を表示したりなどの配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		3	1	招待はしていないが、地域の施設やボランティアを利用しながら交流を図っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			定期的に非常時災害などの内部研修を実施し、保護者にも内容を周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			地震や火災の想定非難を訓練するため、年に2回時期を検討し実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	4			虐待防止の内部研修を定期的に行い、事業所の自己アンケートも実施している。
	41	やむを得ず身体拘束を行う場合は、組織的に決定し、保護者に説明了解を得たうえで計画に記載している	3	1		身体拘束についても内部研修を実施し、必要のある利用者に対しては、計画していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく 対応がされているか	3	1		保護者からの情報を基に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			内部の事例や外部の情報を得て、職員間で共有している。